

平成 29 年度 デイサービスひろば 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）
公表 2018 年 3 月 31 日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切である	4			
	②	職員配置数は適切である	2	2		折り合いがよくない利用者がある時には、もう少し余裕があればと思うときもある。日によって異なる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			
	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		提案されたことは、ひとまず「やってみよう」という良い流れがある。
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか		2	2	実施する予定 アンケートという形では調査はしていないが、直接話があると、その都度対応している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	1	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		職員会議の際、ミニ研修を行う。時間の都合でできない時もある。 機械があれば参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者の思いと支援者側からの課題のすり合わせをしているが、ケースにより課題もある
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			個々ニーズに対応できるよう、スケジュール組みをしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			スケジュールを組む上で、こだわりのないところなどは時々変更を入れている 個々のニーズを聞き取りながら、可能な範囲で取り入れ固定化しないようにしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3		1	利用時間に応じたプログラムも設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2		主には個別の活動ではあるが、活動によっては交流できたり、他者とのかわりがもてるよう設定している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		前回の様子で気になったこと、気がかりなことがあれば確認する 配慮すべきこと、学校、家庭での情報を共有しながら活動している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		振り返りや気づきを記載。 送迎時の家族とのやり取りも記録に残している。
	⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			重要事項に関しては記録を残している
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			4	保護者との面談は設けていないが、聞き取りは常に行っている
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			下校時刻や迎えの時間は予定表を組み確認する。変更があれば伝える。 学校との情報共有、連絡調整は気軽にできる連携がある。（児童クラブとも常に連絡がとりあえる）
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当の利用者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に	2	2		必要であれば情報提供を行っている。

		努めているか					
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4				事業所ですてきたことに、対応などを伝える。 情報の提供は可能である
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4				スーパーバイザーの助言を受けられる仕組みがある
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4			事業所としての交流はない。 見学や意見交換は行っている
	27	(地域自立支援)協議会棟へ積極的に参加しているか	3	1			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				日々連絡帳や送迎時に様子を伝え合っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2		行っていない
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				必要な助言を行いながら、必要に応じて専門機関の紹介も行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3			今現在そのような会を開いていない。 できたらよいとは思っている。 保護者会等はなく、全保護者同士の交流の機会の設定はしていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				苦情や緊急事態の対応について、説明、報告、謝罪は誠心誠意対応するよう心掛けている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1			会報は定期的に配布している インターネットでも活動概要を発信している パンフレットも作成している
	35	個人情報に十分注意しているか	4				十分配慮している。 同意書にサイン捺印ももらっている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				保護者へは電話、メール、書面などで対応している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか	2	1	1		同法人としては、地域との交流を常に図っている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				災害を想定した訓練を行っている。 色々なパターンがあってもいいのかもしれない(利用者の状況や様子など) 避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適正な対応をしているか	4				同法人内で虐待防止委員会を運営し、毎年研修会を開催し、職員が参加しやすいような配慮もしている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか					該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	3	1			常に目に入る場所に保管し、すぐに対応できるようにしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			4		けが、事故等の情報を会議でも共有し、事故防止に努める必要がある。